

Kanji NAKANISHI
Fld: October 16, 2000
Darryl Mexic
202-293-7060
1 of 1

Q6094

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC932 U.S. PRO
09/688134

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年10月15日

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第294128号

出 願 人
Applicant (s):

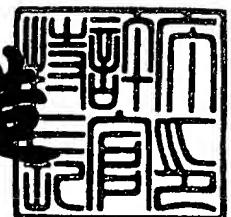
富士写真フイルム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 9月 1日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3070387

【書類名】 特許願

【整理番号】 P991015B

【提出日】 平成11年10月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水 3 - 1 3 - 4 5 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 中西 寛次

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100075281

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小林 和憲

 【電話番号】 03-3917-1917

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 011844

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワーク用情報端末及びプリント方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接続又は装備されたプリンタを用い、ネットワークから得た情報をプリントするネットワーク用情報端末において、

前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶する手段と、前記ネットワークから得た情報の分野に応じて前記宣伝広告情報の分野を自動的に選択する手段と、この自動選択する手段で選択された分野の宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報とともに前記プリンタを用いてプリントするプリント制御手段と、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更する情報を前記ネットワークに送る課金変更情報送り手段とを備えたことを特徴とするネットワーク用情報端末。

【請求項 2】 前記プリンタを両面プリンタから構成し、前記プリント制御手段は、前記宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報と同じ面にプリントするか、その裏面側にプリントするかを指示する指示部と、この指示部で指示されたプリントエリアに各情報をプリントするようにプリントデータを作成する記録制御部とを備えていることを特徴とする請求項 1 記載のネットワーク用情報端末。

【請求項 3】 接続又は装備されたプリンタを用い、ネットワークから得た情報をプリントするネットワーク用情報端末において、

前記プリンタを両面プリンタから構成し、

前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶する手段と、前記ネットワークから得た情報と前記宣伝広告情報とを同じ面に記録するか、両面に分けて記録するかを指示する指示手段と、この指示手段による指示に基づき片面プリント又は両面プリントのプリントデータを作成して前記両面プリンタを制御するプリント制御手段と、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更する情報を前記ネットワークに送る課金変更情報送り手段とを備えたことを特徴とするネットワーク用情報端末。

【請求項 4】 前記宣伝広告情報の分野をユーザーが選択する分野選択手段

を備え、この分野選択手段で選択された宣伝広告情報をプリントすることを特徴とする請求項 3 記載のネットワーク用情報端末。

【請求項 5】 前記宣伝広告情報のプリント量をユーザーが選択する広告プリント量選択手段を備え、この選択された宣伝広告情報のプリント量に応じて前記課金を変更することを特徴とする請求項 1 ないし 4 いずれか 1 つ記載のネットワーク用情報端末。

【請求項 6】 ネットワーク用情報端末に接続又は装備されたプリンタを用い、ネットワークから得た情報をプリントするプリント方法において、

前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶しておき、前記ネットワークから得た情報の分野に応じて前記宣伝広告情報の分野を自動的に選択し、この選択した分野の宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報とともにプリントし、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更することを特徴とするネットワーク用情報端末を用いたプリント方法。

【請求項 7】 前記プリントは、ネットワークから得た情報を記録紙の一方の面に記録し、前記宣伝広告情報を他方の面に記録することを特徴とする請求項 6 記載のネットワーク用情報端末を用いたプリント方法。

【請求項 8】 ネットワーク用情報端末に接続又は装備されたプリンタを用い、ネットワークから得た情報をプリントするプリント方法において、

前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶しておき、前記ネットワークから得た情報を記録紙の一方の面にプリントし、前記宣伝広告情報を記録紙の他方の面にプリントし、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更することを特徴とするネットワーク用情報端末を用いたプリント方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はネットワークから情報を選択してプリントするためのネットワーク用情報端末及びプリント方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

セットトップボックス等のネットワーク情報端末が普及しつつある。セットトップボックスは、家庭用テレビに接続され、ネットワークから提供された各種情報をテレビを介して視聴することができる。

【0003】

このようにネットワークから情報の提供を受ける場合に、ユーザーは情報提供料金として例えばネットワークへの接続料金を支払う。この接続料金の低減を図るために、宣伝広告情報を提供して広告主から宣伝広告料金を得て、この宣伝広告の量に基づきネットワークへの接続料金等の課金を減らすようにした対話型サービスにおけるプログラム送信方法が例えば特開平 7 - 3 0 3 0 8 7 号等で提案されている。このプログラム送信方法では、ユーザーは宣伝広告の量の異なるサービスを選択することができ、この宣伝広告の量に応じて、例えば広告が多いほど料金が安くされるように、課金が調整される。

【0004】

ところで、ネットワーク情報端末で得られた情報をハードコピーとして保存したいことがあり、このような場合に、ネットワーク情報端末にプリンタを接続又は内蔵させることが考えられる。このようなプリントの場合にも、上記宣伝広告の内容を得られた情報とともにプリントし、この宣伝広告の量に応じて、接続料金等の課金を調整すると、ユーザーは接続料金の低減が図れ、また、ネットワークサービス提供者は広告収入が得られる利点がある。

【0005】

なお、原稿画像の複写の際に、広告画像を付加画像として原稿画像に追加合成して複写する技術が、特開平 8 - 2 5 6 2 5 6 号公報、同 9 - 9 0 8 3 2 号公報等の画像形成装置にて提案されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上記提案では、原稿画像と広告画像とを同一面に合成して出力するため、原稿画像の品位が損なわれるという問題がある。また、広告画像が増える分だけ紙の使用量も増加するという問題がある。更には、広告も欲しいが原稿画像も独立し

て欲しい場合には、ユーザーの選択操作が複雑になるという問題がある。

【0007】

本発明は上記課題を解決するものであり、ネットワークから得た情報をプリントする際に、ハードコピーとして欲しい情報に、前記宣伝広告情報が混在されてプリントされることがないようにした、見やすいプリントが得られるネットワーク用情報端末及びプリント方法を提供することを目的とする。また、本発明の別の目的は、宣伝広告情報をプリントする際に、ユーザーが興味のあるものが適切に得られるようにすることにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1記載のネットワーク用情報端末では、接続又は装備されたプリンタを用い、ネットワークから得た情報をプリントするネットワーク用情報端末において、前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶する手段と、前記ネットワークから得た情報の分野に応じて前記宣伝広告情報の分野を自動的に選択する手段と、この自動選択する手段で選択された分野の宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報とともに前記プリンタを用いてプリントするプリント制御手段と、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更する手段とを備えている。なお、前記プリンタを両面プリンタから構成し、前記プリント制御手段は、前記宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報と同じ面にプリントするか、その裏面側にプリントするかを指示する指示部と、この指示部で指示されたプリントエリアに各情報をプリントするようにプリントデータを作成する記録制御部とを備えていることが好ましい。

【0009】

請求項3記載のネットワーク用情報端末では、プリンタを両面プリンタから構成し、前記ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶する手段と、前記ネットワークから得た情報と前記宣伝広告情報とを同じ面に記録するか、両面に分けて記録するかを指示する指示手段と、この指示手段による指示に基づき片面プリント又は両面プリントのプリントデータを作成して前記両面プリンタを制御する

プリント制御手段と、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更する手段とを備えている。なお、前記宣伝広告情報の分野をユーザーが選択する分野選択手段を備え、この分野選択手段で選択された宣伝広告情報をプリントすることが好ましい。また、前記宣伝広告情報のプリント量をユーザーが選択する広告プリント量選択手段を備え、この選択された宣伝広告情報のプリント量に応じて前記課金を変更することが好ましい。

【0010】

請求項6記載のネットワーク用情報端末を用いたプリント方法では、ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶しておき、前記ネットワークから得た情報の分野に応じて前記宣伝広告情報の分野を自動的に選択し、この選択した分野の宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報とともにプリントし、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更している。なお、前記プリントは、ネットワークから得た情報を記録紙の一方の面に記録し、前記宣伝広告情報を他方の面に記録することが好ましい。

【0011】

請求項8記載のネットワーク用情報端末を用いたプリント方法では、ネットワークから送られた宣伝広告情報を記憶しておき、前記ネットワークから得た情報を記録紙の一方の面にプリントし、前記宣伝広告情報を記録紙の他方の面にプリントし、前記宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更している。

【0012】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明を実施したデジタルセットトップボックス（STB）の概略図である。このデジタルSTB10は、画像情報や音声情報をネットワーク15から受信してそれを外部ディスプレイ11、例えば家庭用テレビに出力するとともに、プリンタ12を介してそのハードコピー13も得ることができる。

【0013】

デジタルSTB10には、インターネット等のネットワーク15から、テキスト、文書グラフィックス、静止画（JPEG等に準拠して符号化）、動画（MP

E G等に準拠して符号化)等の情報や音声情報などが送られてくる。これらテキスト、文書グラフィック、静止画、動画等の区別は、受信する情報のヘッダ部として組み込まれた識別子等にしながら行われる。これらの信号はネットワークインターフェース16を介してシステムコントローラ17に入力される。

【0014】

システムコントローラ17は、CPU20、ROM21、RAM22、バス23、I/O24を備えている他に、操作部30、外部メモリ装置31、ハードディスク32、ネットワークインターフェース16、表示制御部33、情報/広告記録制御部34、プリンタ制御部35、課金変更情報作成部36が接続されている。

【0015】

システムコントローラ17には、データ通信、及びネットワークから情報の検索、閲覧を行うための通信・検索・閲覧用のソフトウェアがインストールされている。このソフトウェアは、STB専用のもの、又は一般的なWWW(World-Wide Web)ブラウザを用いてよい。

【0016】

操作部30は、リモコン送信機30a及び受信機30bから構成されており、リモコン送信機30aの各ボタンを操作することで、電源のオンオフから通信、検索、閲覧の各処理が行えるようになっている。更に、このリモコン送信機30aを用いて、後に説明する宣伝広告情報のプリントアウトの初期設定を行うことができる。リモコン送信機30aの各ボタンを押すと、これに対応するメニュー画面が外部ディスプレイ11に表示され、この外部ディスプレイ11の表示にしたがい対応する操作キーを押すことで、各種操作及び初期設定が行える。

【0017】

外部メモリ装置31は、プログラムやデータを外部から供給したり、外部へと供給したりするために記録媒体が取り外し可能なものであり、メモリカードや、フロッピーディスクドライブ装置、CDドライブ装置、DVDドライブ装置などが選択的に用いられる。

【0018】

ハードディスク 3 2 には、システムコントローラ 1 7 を介して前記通信・検索・閲覧用のプログラムやデータが書き込まれる。この他に、宣伝広告情報も書き込まれる。この宣伝広告情報は、定期的にネットワーク 1 5 からダウンロードされる。この宣伝広告情報は、分野毎に識別されてハードディスク 3 2 に書き込まれており、分野毎に選択してプリントアウトすることができる。

【 0 0 1 9 】

システムコントローラ 1 7 からの出力画像データは、表示制御部 3 3 を介して液晶表示板 4 0 に表示される他に、外部表示出力端子 4 1 を介して家庭用テレビ等の外部ディスプレイ 1 1 に表示される。なお、液晶表示板 4 0 は省略してもよく、又は数行の文字が表示される液晶表示板を用いて、デジタル S T B 1 0 の現在のモード状態を表示させてもよい。

【 0 0 2 0 】

前記情報／広告記録制御部 3 4 は、ハードコピーとして得たい情報（プリント対象情報）と、予めハードディスク 3 2 にダウンロードされた宣伝広告情報とから、予め設定又はプリント時に指定したフォーマットに基づき、プリント画像データを作成する。このプリント画像データの作成には、周知の画像合成や画像処理技術が用いられる。このプリント画像データは、接続されている両面プリンタ 1 2 の解像度に合わせて作成される。作成されたプリント画像データは、システムコントローラ 1 7 を介してプリンタ制御部 3 5 に送られる。

【 0 0 2 1 】

操作部 3 0 のリモコン送信機 3 0 a からプリント指示信号が送られると、プリント画像データがシステムコントローラ 1 7、プリンタ制御部 3 5 を介して両面プリンタ 1 2 に送られる。両面プリンタ 1 2 は、表用と裏用の専用のプリント部を備えており、ほぼ同時に両面にプリントを行う。

【 0 0 2 2 】

課金変更情報作成部 3 6 は、課金変更情報を作成する。この課金変更情報は、後に詳しく説明するように、例えば各宣伝広告情報のプリント数（本数）に基づき求められる。

【 0 0 2 3 】

図 2 は、システムコントローラ 1 7 における処理手順を示すフローチャートである。システムコントローラ 1 7 はリモコン送信機 3 0 a からの操作信号の入力待ち状態では、待機モードに設定される。この待機モードでは、一定期間毎にネットワーク 1 5 内の所定の宣伝広告サーバーに接続される。そして、最新の宣伝広告情報がダウンロードされ、システムコントローラ 1 7 を介してハードディスク 3 2 に書き込まれる。

【 0 0 2 4 】

リモコン送信機 3 0 a からの操作信号により、ユーザー操作モードが選択されると、まず、情報プリントサービスモード、又は表裏広告選択モードか否かがその操作キーの入力信号から判別される。表裏広告選択モードでは、広告を表に記録するか裏に記録するかを予め設定する。この設定値はハードディスク 3 2 内の所定エリアに記憶され、後に新たに表裏広告選択モードで変更されない限り、この設定値が用いられる。

【 0 0 2 5 】

この後、情報検索・閲覧操作が行われ、ネットワーク 1 5 から該当する情報が検索され、これらの情報が外部ディスプレイ 1 1 に表示される。ユーザーは、この情報検索・閲覧操作により、ネットワーク 1 5 から希望する情報を閲覧することができる。閲覧の結果、これをハードコピー 1 3 として保存したい場合には、リモコン送信機 3 0 a のプリントアウトキーが操作され、プリントアウトが行われる。

【 0 0 2 6 】

プリントアウトでは、まず、プリントアウトが指示されたディスプレイ画面の表示内容に基づき、選択された情報がどの分野に属するかが判定される。この分野情報は、予め各情報毎にヘッダー情報として書き込まれており、これによりどの分野の情報かが判定される。この判定は、予め、選択された情報分野とこれに対応する宣伝広告分野とが対応付けられたルックアップテーブルを用いて行われるが、他の手法を用いてこれらに対応付けしてもよい。

【 0 0 2 7 】

次に、この判定結果に基づき、宣伝広告情報中の対応する分野が検索され、対

応付けされた宣伝広告情報がハードディスクの所定エリアから読み出される。例えば、プリントアウト対象の情報が「旅行」に関するものであれば、旅行関連の宣伝広告情報が選択される。次に、プリントフォーマットに基づき、これに対応するプリント画像データが作成される。

【 0 0 2 8 】

次に各データに基づきプリントが行われる。表広告プリントでは、図 3 (A) , (B) に示すように、検索したプリントアウト対象情報と、広告宣伝情報がエリア毎に区分けされて表面 5 0 a にプリントされる。また、表裏プリントでは、図 3 (C) に示すように、表面 5 2 a には、検索したプリントアウト対象情報のみがプリントされ、裏面 5 2 b には宣伝広告情報がプリントされる。

【 0 0 2 9 】

図 3 は、プリントフォーマットの一例を示している。表プリントが指示されている場合には、図 3 (A) 又は (B) に示すような記録紙 5 0 の表面 5 0 a に対し記録が行われる。(A) はプリントエリア P A 中の下部を広告プリントエリア C P A としたものであり、残りの部分がプリント対象情報のプリントエリア D P A とされる。(B) は別のプリント形態を示すもので、プリントエリア P A 中の下部及び右側部が広告プリントエリア C P A 1 , C P A 2 とされ、残りの部分がプリント対象情報のプリントエリア D P A とされる。

【 0 0 3 0 】

図 3 (C) , (D) は、両面プリントにおける記録紙 5 2 の一例である。(C) は表面 5 2 a のプリント例であり、そのプリントエリア P A の全面に対してプリント対象情報のプリントエリア D P A が設定される。(D) は裏面 5 2 b のプリント例であり、プリントエリア P A の全面に対して広告プリントエリア C P A 3 ~ C P A 7 が設定される。

【 0 0 3 1 】

図 3 (D) に示すように、宣伝広告情報を裏面 5 2 b にプリントすることにより、(C) に示すように、欲しい情報であるプリント対象情報のプリント面（表面 5 2 a）には、宣伝広告情報が表示されることがなくなる。したがって、ユーザーは広告が裏面に行われる裏面広告プリントモードが選択しやすくなる。また

、裏面であるから、広告量を増やしても表面 5 2 a のプリント対象情報には影響がなく印画品質が広告によって損なわれることがない。このように、広告量の多い裏面広告モードが選択されやすくなり、広告効果を上げることができる。

【0032】

プリントが終了すると、課金変更情報作成部 3 6 により課金変更情報が作成され、これが保存される。次に、宣伝広告情報を提供したサーバーに課金変更情報が送られる。サーバーでは、この課金変更情報に基づき接続料金に対する減額を算出する。本実施形態では、プリントアウトされた宣伝広告情報の量に基づき、接続料金が減額される。例えば、1～10本の宣伝広告情報のプリントでは減額を $X1$ とし、10～50本の宣伝広告情報のプリントでは減額 $X2$ ($X1 < X2$) とする。また、50本以上では減額を $X3$ ($X2 < X3$) とする。

【0033】

なお、減額を段階的に設定する代わりに、1本当たりの宣伝広告情報のプリントに対する減額を決定しておき、プリントアウトされた宣伝広告情報の本数を乗じることで、減額を算出してもよい。また、宣伝広告情報の減額率を、プリントした宣伝広告情報の本数に応じて段階的に設定しておき、これに基づき減額を算出してもよい。なお、課金の調整は上記の記載に限定されることなく、ユーザーと広告主とサーバー提供者との利益を勘案して適宜に課金料金や料率を変更してもよい。また、課金は、接続時間に対応して算出される変動課金の他に、接続時間に関わらず一定とされる固定課金、変動課金と固定課金とを併用したステップ的課金の3種類があるが、これらのいずれに対しても本発明を適用することができる。

【0034】

上記実施形態では、各プリントを終了する毎に課金変更情報を保存し、これをその都度サーバーに送信したが、これに代えて、上記課金変更情報を一定期間分を保存しておき、これを待機モードにおける最新の宣伝広告情報のダウンロード時に一括して送信してもよい。また、課金変更情報を送る代わりに、デジタルSTB 10側で課金変更情報に基づき減額を算出し、これをサーバーに送るようにしてもよい。

【 0 0 3 5 】

上記実施形態では、選択された情報の分野に基づき、これに関連する分野の宣伝広告情報をプリントアウトするようにしたが、この他に、単に、図4に示すように、分野毎に対応付けすることなく、宣伝広告情報を一律にプリントアウトしてもよい。上記実施形態では、図3（D）に示すように、宣伝広告情報は例えば1頁当たりに5件載せる程度のボリュームを有するため、1頁では全ての宣伝広告情報を記載することができない場合がある。この場合には、次の頁のプリントの際に、残りの宣伝広告情報を順にプリントアウトするとよい。また、検索された宣伝広告情報が記録紙のプリントエリアを満たさない場合には、このプリントエリアに合わせて宣伝広告情報のフォント等を変更し拡大プリントとしてもよい。

【 0 0 3 6 】

図5は別の実施形態における処理手順を示すフローチャートである。この実施形態では、ユーザーが欲しい宣伝広告情報の分野を指定することができる。この場合には、表裏広告選択モードの他に、広告分野選択モードを設けておき、このモードが指定されたときに、各種広告分野を外部ディスプレイに表示し、リモコン送信機の選択ボタンを使用して、興味のある宣伝広告分野を指定する。そして、プリントの際に上記指定された分野の宣伝広告情報を選択し、これに基づきプリント画像データを作成する。

【 0 0 3 7 】

図6は、広告分野の他に広告のプリント量も選択可能にした他の実施形態における処理手順を示している。この広告のプリント量の選択により、広告量を増減することができる。特に、表広告プリントモードを指定したときには、広告量を減ずることにより、欲しい情報と一緒にプリントされる広告量が減るため、見やすいプリントが得られる。また、表裏広告プリントモードを選択した場合には、広告量を増やすことで課金が減り、接続料金等を安くすることができる。更には、広告無しを選択することで、通常の欲しい情報だけが記録されたプリントを得ることができる。

【 0 0 3 8 】

上記各実施形態では、待機モードにおいて、最新の宣伝広告情報をダウンロードしたが、これに代えて、情報の検索・閲覧動作の実行時に、これら各種情報とともに宣伝広告情報を送るようにしてもよい。

【0039】

なお、プリントに対しても課金を行う場合には、プリントサービスに対する課金に対し、広告プリントの分だけ課金を減ずるようにしてもよい。また、上記実施形態では、宣伝広告のプリントを一定したサイズで行っているが、このプリントサイズは変更してよい。例えば、拡大してプリントする場合には、宣伝効果が高いため、その分だけ広告主から広告料を請求することで、ユーザー側の課金を減じてよい。

【0040】

上記実施形態における両面プリンタ 1 2 は、表用と裏用の専用のプリント部を備えていたが、この他に、1つのプリント部を備え、先ず表面にプリントを行い、次に用紙反転部により記録紙を裏返して、裏面にプリントを行う両面プリンタを用いてもよい。また、上記実施形態では両面プリンタ 1 2 を、デジタル S T B 1 0 に内蔵させているが、これに代えて、コネクタを介して外部の両面プリンタ 1 2 に接続させてもよい。また、内蔵のプリンタと外部のプリンタとを選択的に用いてもよい。

【0041】

上記実施形態では本発明をデジタル S T B 1 0 に実施したものであるが、これに代えて、通常のパソコンシステムからなる情報端末において、本発明を実施してもよい。また、上記実施形態ではネットワーク 1 5 としてインターネットを例にとって説明したが、この他に、ケーブルや衛星通信網を用いたデジタル放送等のネットワークに対して本発明を実施してもよい。

【0042】

【発明の効果】

本発明によれば、ネットワークから得た情報の分野に応じて宣伝広告情報の分野を自動的に選択し、この選択された分野の宣伝広告情報を、ネットワークから得た情報とともにプリントしたから、プリント対象情報と関連のある宣伝広告情

報がプリントされるので、宣伝効果を上げることができる。しかも、プリント対象情報と関連のある宣伝広告情報であるため、宣伝広告情報の挿入がそれほど違和感なくユーザーに受け入れられる。また、宣伝広告情報のプリント量に応じて情報提供サービスの課金を変更するから、ユーザーにとっては接続料金等が安くなる。

【0043】

また、ネットワークから得た情報を記録紙の一方の面にプリントし、宣伝広告情報を記録紙の他方の面にプリントすることにより、欲しい情報中には宣伝広告情報が入ることがなく見やすいプリントが得られる。しかも、裏面には宣伝広告情報がプリントされるため、この分だけユーザーにとって接続料金等の情報提供サービスが安くなる。

【0044】

宣伝広告情報を、前記ネットワークから得た情報と同じ面にプリントするか、その裏面側にプリントするかを指示する指示部を設け、この指示部で指示されたプリントエリアに各情報をプリントすることにより、プリント対象情報の内容に応じてプリントレイアウトを変更することができる。また、宣伝広告情報の分野をユーザーが選択する分野選択手段を備え、この分野選択手段で選択された宣伝広告情報をプリントすることにより、ユーザーが欲しい宣伝広告情報が得られるため、強制的に宣伝広告がプリントアウトされても、これを有効に利用することができ、宣伝効果が上がる。更には、宣伝広告情報のプリント量をユーザーが選択する情報量選択手段を備え、この選択された宣伝広告情報のプリント量に応じて前記課金を変更することにより、ユーザーの選択幅が広がり、多様な形態のプリントが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を実施したデジタルSTBの概略図である。

【図2】

同デジタルSTBにおける処理手順を示すフローチャートである。

【図3】

(A) , (B) は片面プリントにおけるプリントフォーマットの一例を示し、
(C) は両面プリントにおけるプリントフォーマットの表側の一例を示し、(D)
) は両面プリントにおけるプリントフォーマットとの裏側の一例を示している。

【図 4】

ネットワークから得た情報の分野に応じて宣伝広告情報の分野を特定すること
のない別の実施形態における処理手順を示すフローチャートである。

【図 5】

宣伝広告情報の分野をユーザーが設定可能な別の実施形態における処理手順を
示すフローチャートである。

【図 6】

宣伝広告情報のプリント量もユーザーが設定可能な別の実施形態における処理
手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

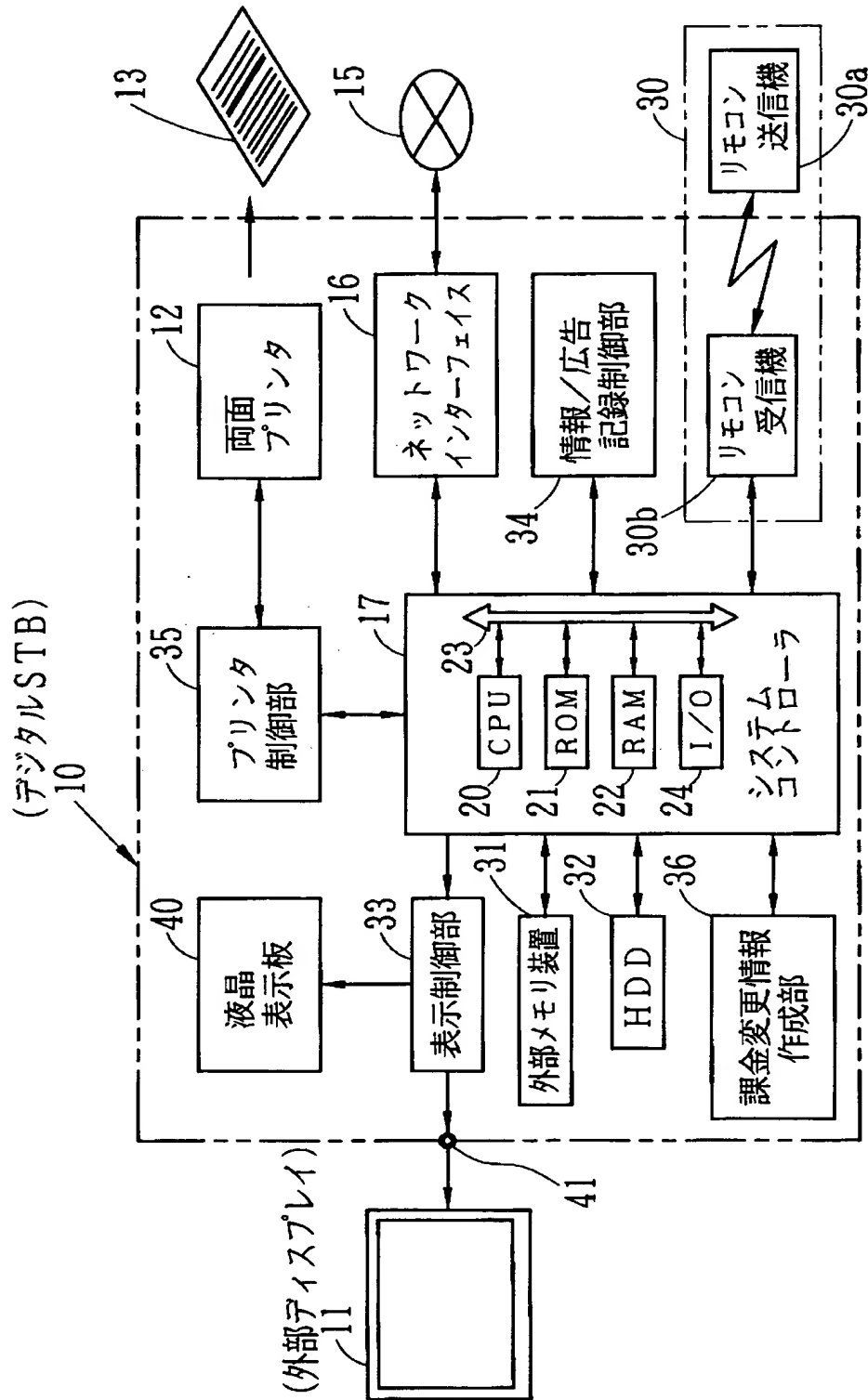
- 1 0 デジタル S T B
- 1 1 外部ディスプレイ
- 1 2 両面プリンタ
- 1 3 ハードコピー
- 1 5 ネットワーク
- 1 6 ネットワークインターフェース
- 1 7 システムコントローラ
- 3 0 操作部
- 3 1 外部メモリ装置
- 3 4 情報／広告記録制御部
- 3 5 プリンタ制御部
- 3 6 課金変更情報作成部
- 5 0 , 5 2 記録紙
- 5 0 a , 5 2 a 表面
- 5 2 b 裏面
- P A プリントエリア

CPA, CPA1~7 広告プリントエリア

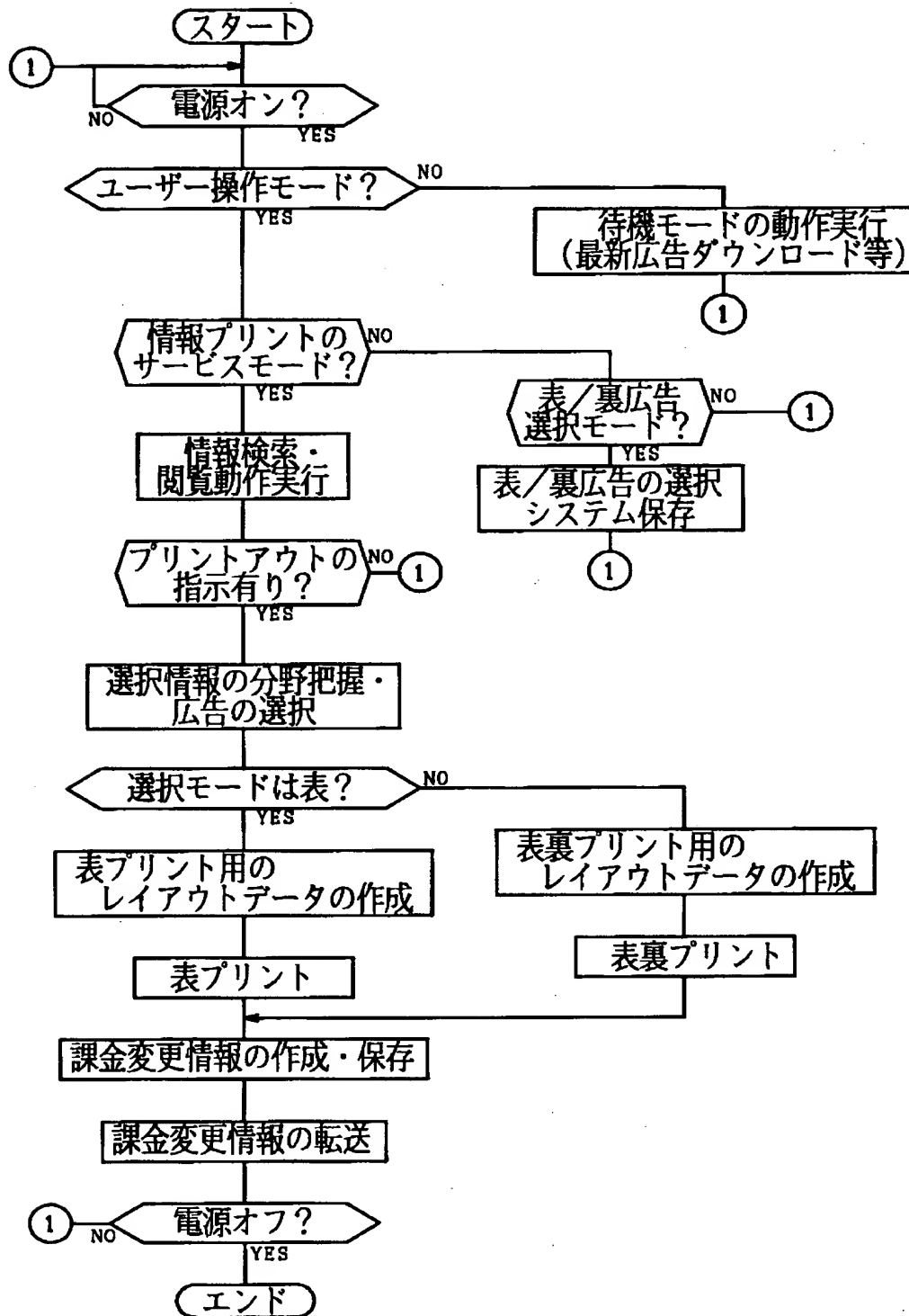
DPA プリント対象情報のプリントエリア

【書類名】 図面

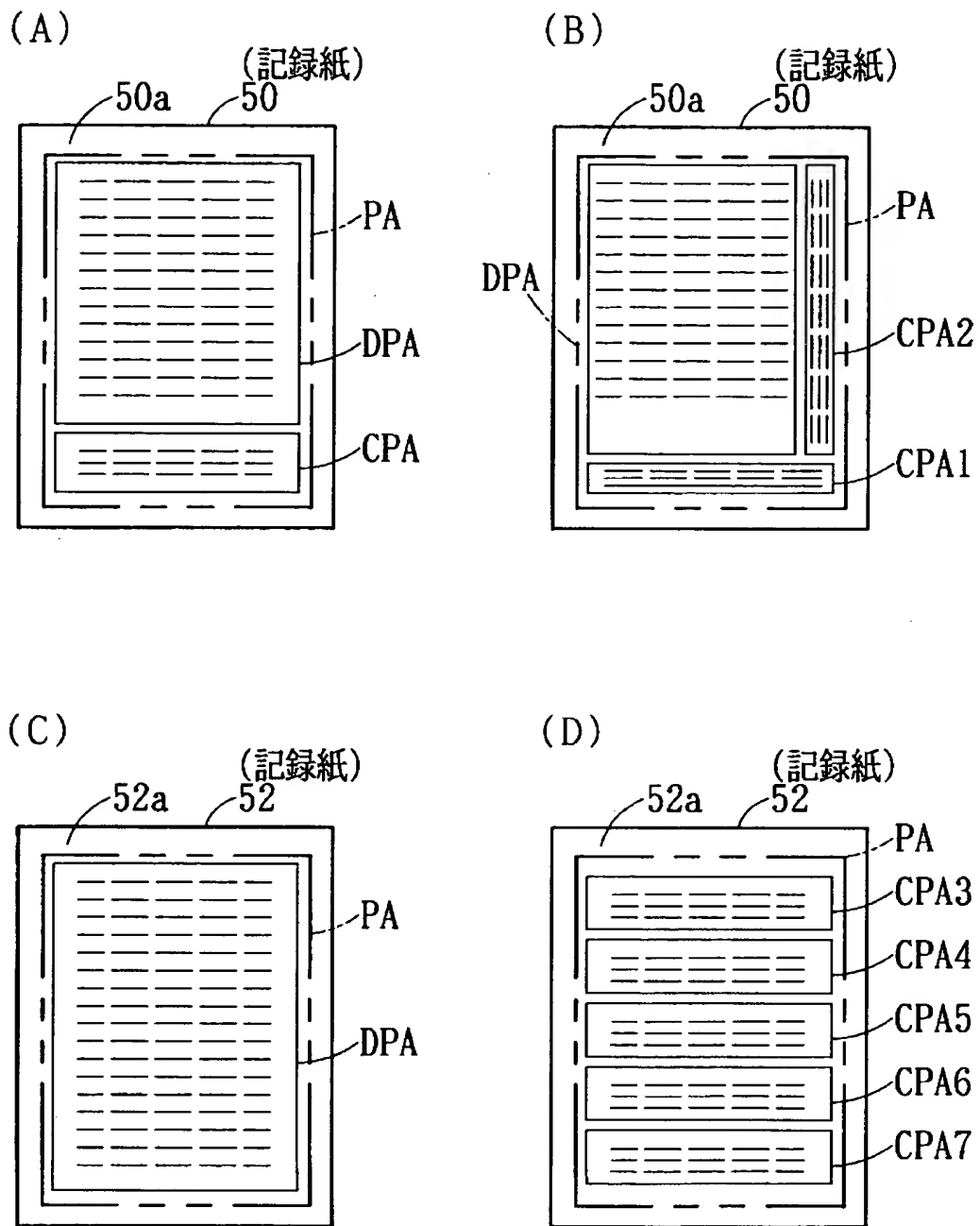
【図 1】



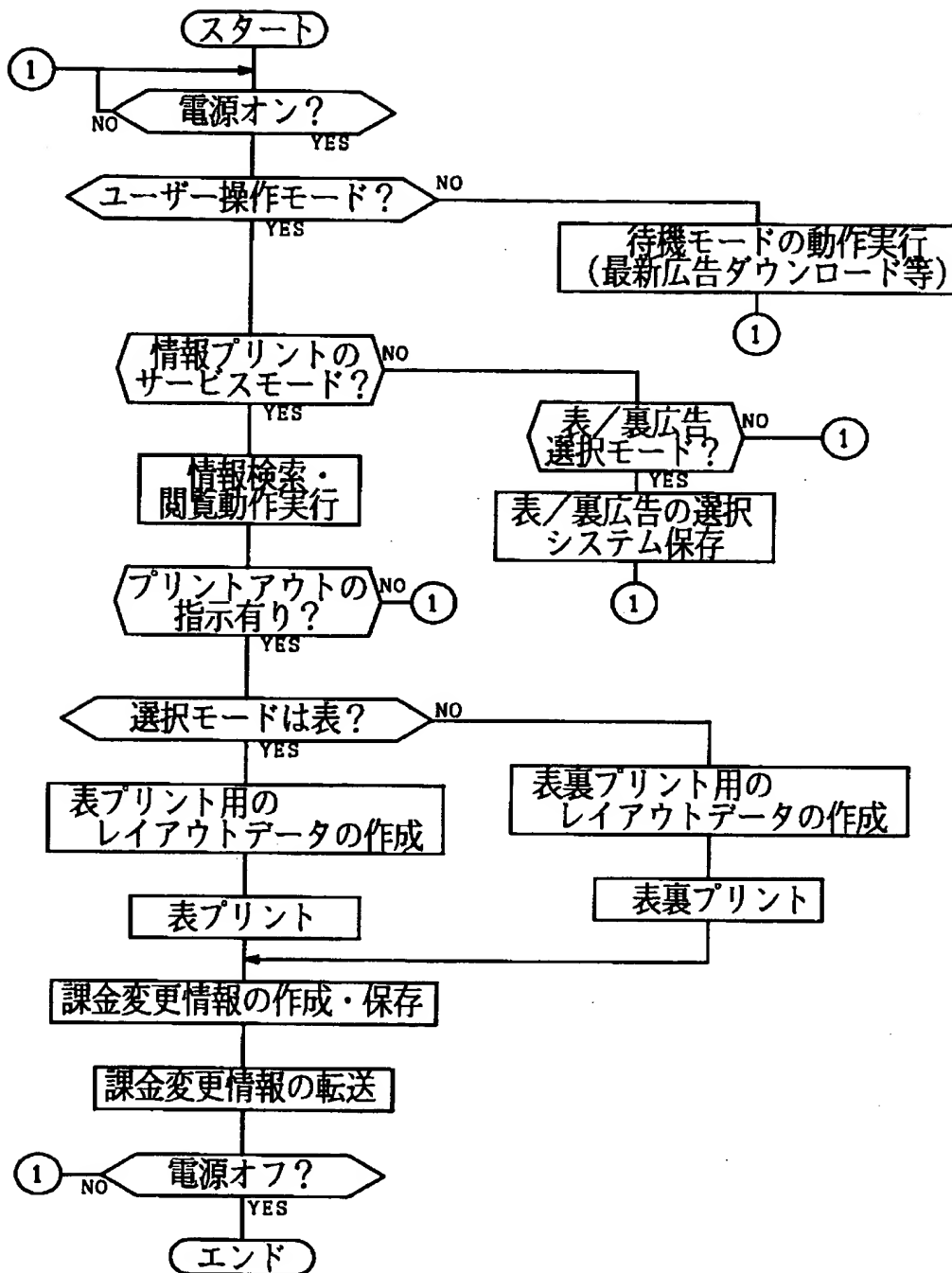
【図 2】



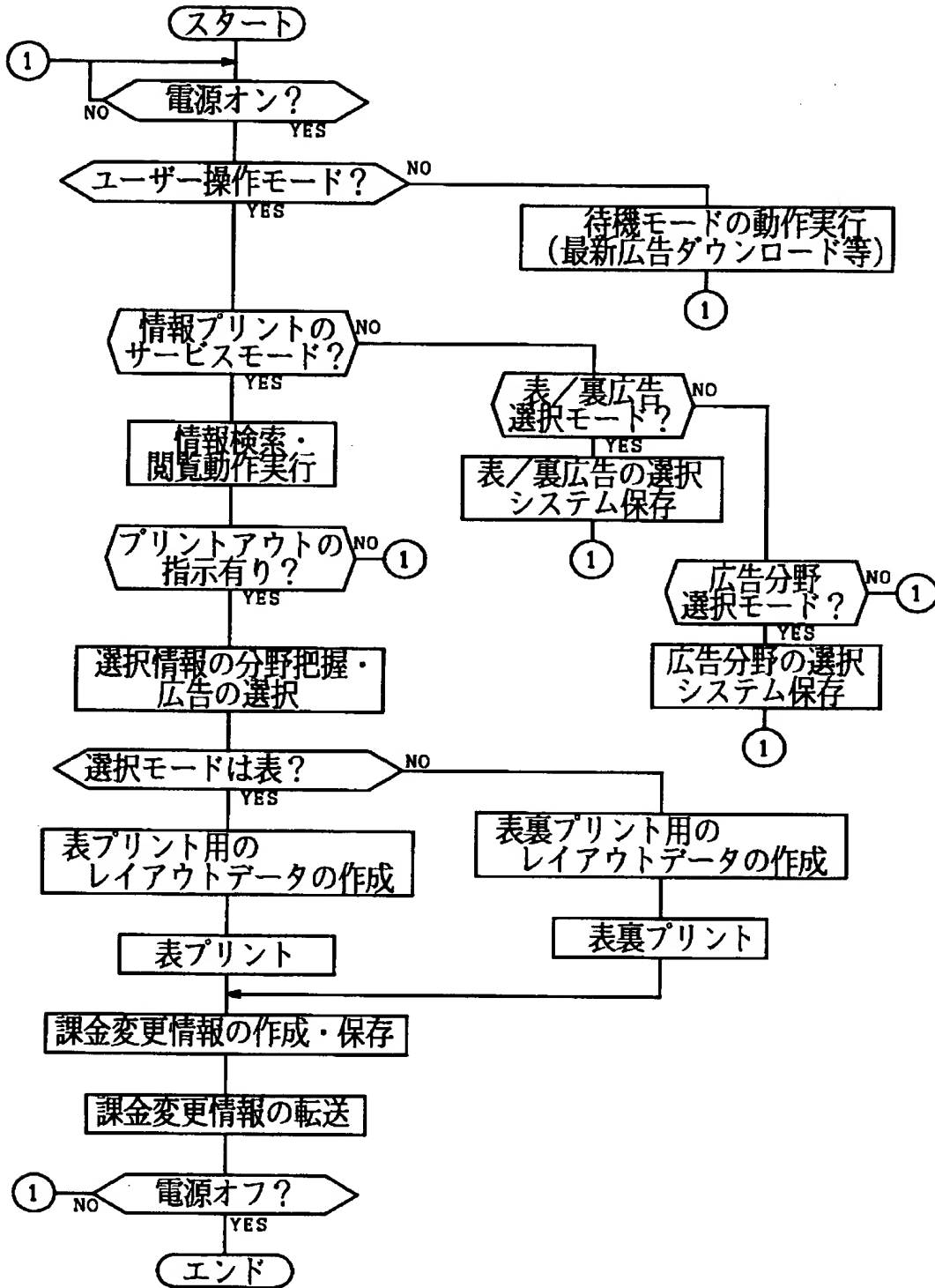
【図 3】



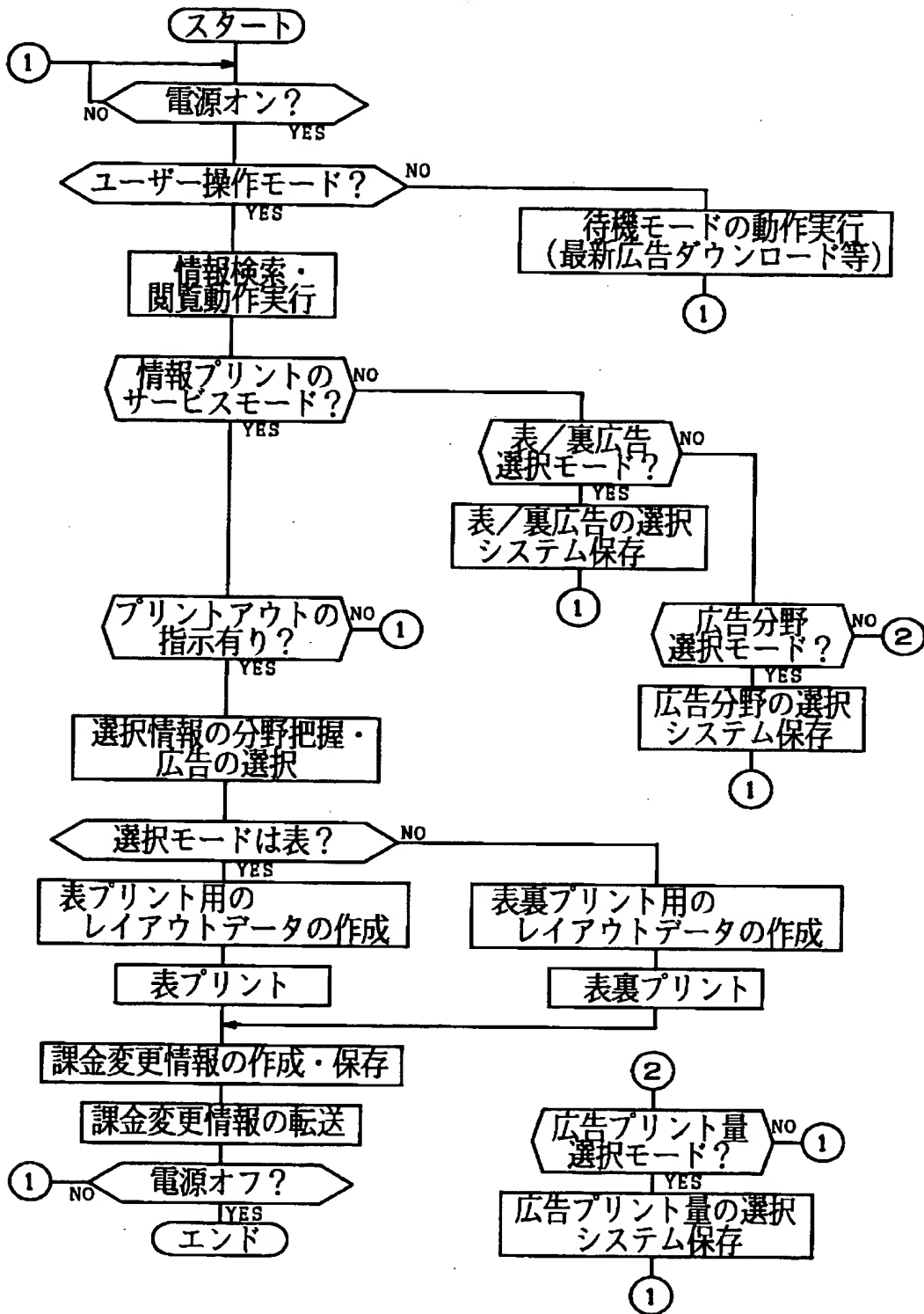
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プリント対象情報の他に宣伝広告情報をプリントする際に、見やすいプリントを得る。

【解決手段】 ネットワークインターフェイス 16 を介してネットワーク 15 から各種情報を受信する。プリンタ制御部 35 を介して両面プリンタ 12 を接続する。ネットワーク 15 から一定期間毎に宣伝広告情報をダウンロードし、これをハードディスク 32 に書き込む。ネットワーク 15 から各種情報を検索・閲覧し、ハードコピーが欲しい時にプリントを指示する。このプリントの際に、表面広告プリントか、裏面広告プリントかを指示する。裏面広告プリントでは、表面にプリント対象情報を、裏面に宣伝広告情報をプリントする。宣伝広告情報がプリント対象情報と同じ面に記録されることがなく、見やすいプリントが得られる。宣伝広告情報のプリント量に応じて接続料金等の課金が減額される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社